

みんなの想いや願いを結び、未来（あす）へとつながるまち 郡山
～ 課題解決先進都市 郡山 ～

《 市民意見レーダー 》

2024年度 調査結果報告書

速 報 版



ターゲット 16.7

調査の目的

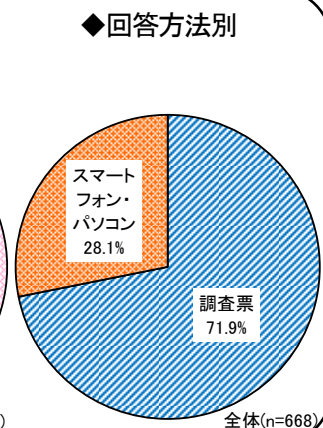
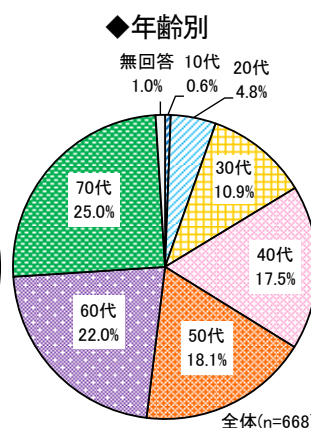
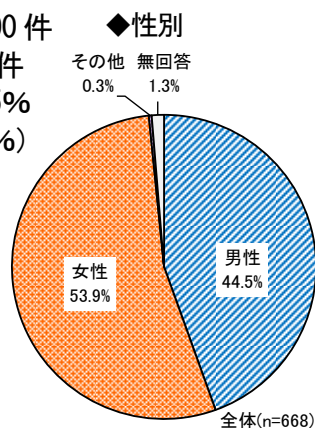
時代とともに変化する市民の皆さまの意見や様々なニーズを把握し、今後の施策、事業の検討、推進、評価等の基礎データとして活用するため、毎年実施しています。

調査の設計

- ◆調査地域：郡山市全域
- ◆調査対象：郡山市内にお住まいの満18歳以上の者
- ◆標本数：1,500人（男性750人、女性750人）
- ◆抽出方法：住民基本台帳（令和6年5月1日現在）からの年代、地域を考慮した無作為抽出
- ◆調査方法：郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの返信
- ◆調査期間：令和6年5月30日～令和6年6月14日（16日間）
- ◆調査項目：①幸福度の現状について…2問
②住みやすさについて…2問
③まちづくりについて（6分野43項目についての満足度）…43問
④これからの取組について（6分野43項目についての重要度）…1問
⑤誰一人取り残されないユニバーサルデザインのまちづくりについて…8問
⑥対象者の基本属性について…8問
⑦市への意見や要望など（自由記載）…1問

回収結果

- ◆発送数：1,500件
- ◆有効回収数：668件
- ◆有効回収率：44.5%
（対前年比 +2.2%）



郡山市

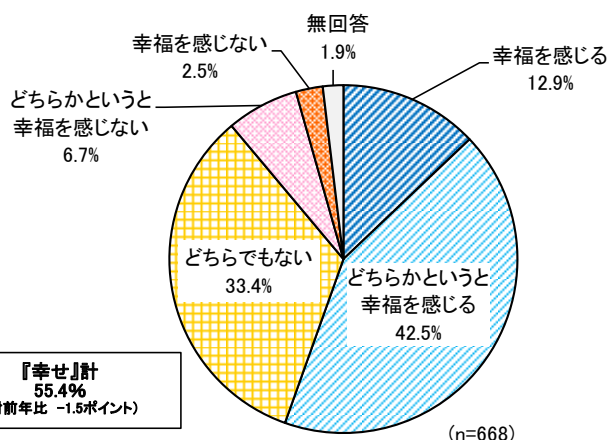
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

普段どの程度幸福だと感じていますか？

普段の幸福感

半数以上の方は「幸せ」を感じています。

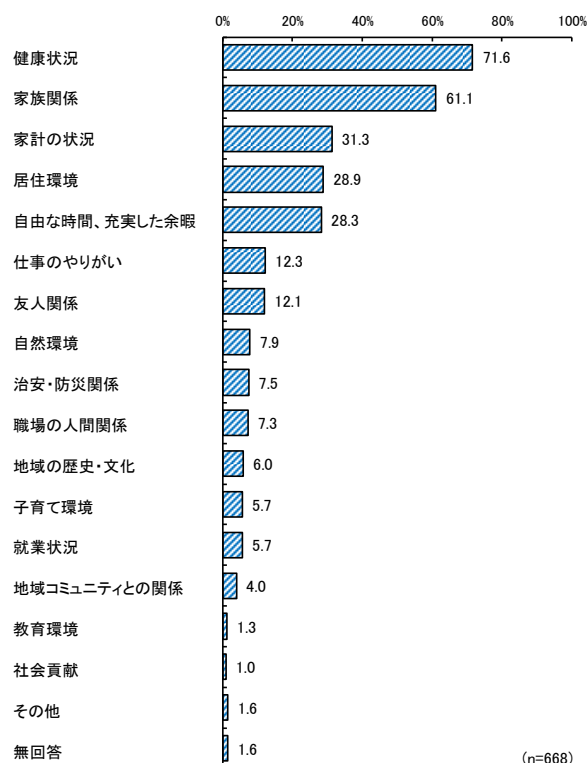


➡ 「幸福を感じる」12.9%と「どちらかという和幸福を感じる」42.5%の両者を合計した『幸せ』が55.4%を占めています。

幸福かどうか判断する際に重視した事項は？ (複数回答)

幸福の判断事項

6割以上の方が「健康状況」と「家族関係」と回答しています。

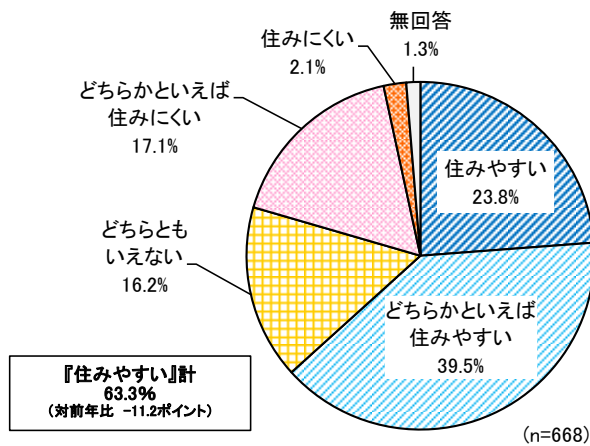


➡ 幸福かどうか判断する際に重視した事項は「健康状況」が71.6%、「家族関係」が61.1%となっています。

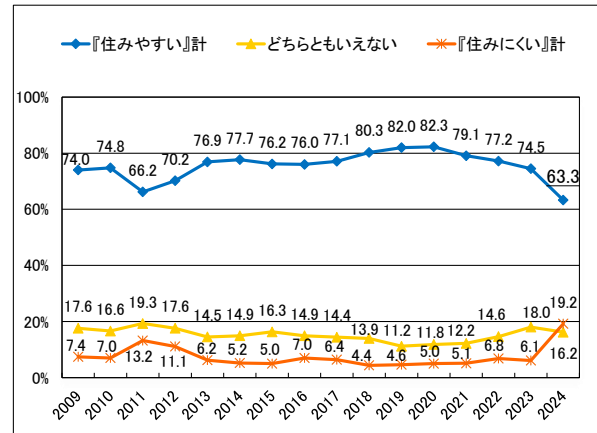
郡山市の住みやすさは？

住みやすさへの評価

6割強の方は郡山市を「住みやすいまち」としています。



【経年変化】

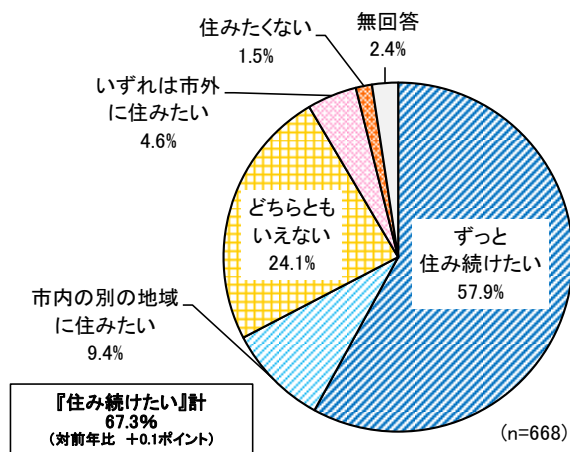


➡ 「住みやすい」23.8%と「どちらかといえば住みやすい」39.5%の両者を合計した『住みやすい』が63.3%を占めています。
経年変化における『住みやすい』の割合は、2021年から減少が続いています。

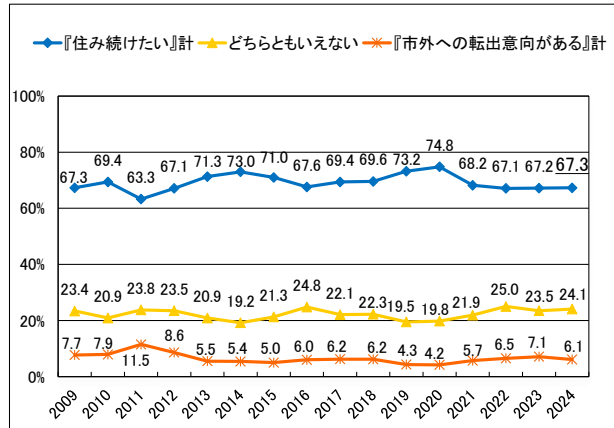
今後も郡山市に住みたいですか？

今後の居住意向

7割弱の方は今後も郡山市内に「住み続けたい」としています。



【経年変化】



➡ 「ずっと住み続けたい」57.9%と「市内の別の地域に住みたい」9.4%の両者を合計した『住み続けたい』が67.3%を占めています。
経年変化における『住み続けたい』の割合は、前回調査から0.1ポイント増加し、横ばい傾向となっています。

「まちづくり」についての満足度は？

項目（施策）への満足度 満足度上位3つは「音楽のまちづくり」「医療」「自然環境」です。

【43項目（施策）の満足度ランキング】

※よい=100点、どちらかといえばよい=80点、どちらかといえば不満=60点、不満=40点、配点平均=70点

調査結果全体平均=69.5点

順位	前年度 順位	分野	項目	満足度 ※	順位の変動	10位以上の 変動
1位	(2位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	音楽のまちづくり	77.4	↑	
2位	(1位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	医療	76.3	↓	
3位	(3位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	自然環境	74.9	→	
4位	(4位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防災	74.2	→	
5位	(5位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	健康づくり	73.6	→	
6位	(6位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	スポーツ・文化・芸術	73.3	→	
7位	(7位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	住環境	73.0	→	
8位	(8位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	子育て	72.9	→	
9位	(8位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	広聴広報	72.2	↓	
10位	(12位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	青少年健全育成	71.6	↑	
11位	(12位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	乳幼児教育・家庭教育	71.2	↑	
12位	(20位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	男女共同参画	71.1	↑	
13位	(15位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	歴史・文化遺産	71.0	↑	
13位	(23位)	基盤的取組	D X推進	71.0	↑	△
15位	(25位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	地域コミュニティ	70.7	↑	△
16位	(18位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	地域学習	70.5	↑	
17位	(17位)	基盤的取組	セーフコミュニティ	70.2	→	
18位	(22位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	学校教育	70.1	↑	
19位	(10位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防犯・交通安全・消費者対策	69.9	↓	
20位	(26位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	都市間交流・国際交流	69.8	↑	
21位	(12位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	5 R（資源の有効利用）	69.4	↓	
22位	(20位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	生涯学習	69.0	↓	
23位	(33位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	創業・起業支援	68.9	↑	△
24位	(27位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	市民協働	68.8	↑	
24位	(11位)	基盤的取組	復興・創生の更なる推進	68.8	↓	▼
26位	(16位)	基盤的取組	S D G s	68.7	↓	▼
26位	(24位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	特産品ブランド化	68.7	↓	
28位	(19位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	産業創出・企業誘致	68.6	↓	
29位	(29位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	地域産業	68.5	→	
30位	(35位)	基盤的取組	行政経営	68.2	↑	
31位	(31位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	エネルギー	67.9	→	
31位	(31位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	高齢者福祉	67.9	→	
33位	(28位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	地域福祉	67.8	↓	
34位	(30位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	ユニバーサルデザイン	67.6	↓	
35位	(36位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	障がい者福祉	67.3	↑	
36位	(37位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	交通・道路	66.8	↑	
37位	(39位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	雇用・就労	66.6	↑	
38位	(34位)	基盤的取組	連携中枢都市圏構想	66.4	↓	
39位	(38位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	環境活動	65.9	↓	
40位	(40位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	計画的な都市づくり	65.4	→	
41位	(41位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	観光	63.8	→	
42位	(42位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	シティプロモーション・関係人口	62.6	→	
43位	(43位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	農林業	62.0	→	



「音楽のまちづくり」「医療」「自然環境」がトップ3です。

また、前年度に比べて「D X推進」「地域コミュニティ」「創業・起業支援」が大きく順位を上げています。

「まちづくり」についての重要度は？

項目（施策）の重要度

重要度上位3つは「子育て」「高齢者福祉」「雇用・就労」です。

【43項目（施策）の重要度ランキング】

※特に重要と思われるもの5つ選択

調査結果全体平均＝13.3%

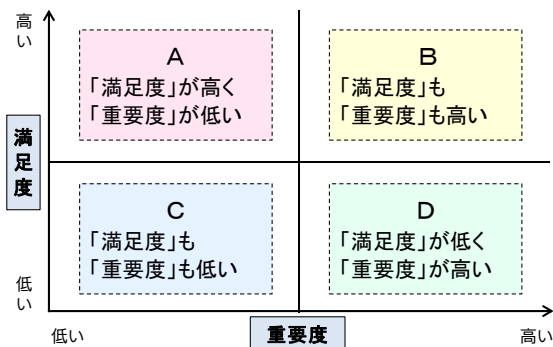
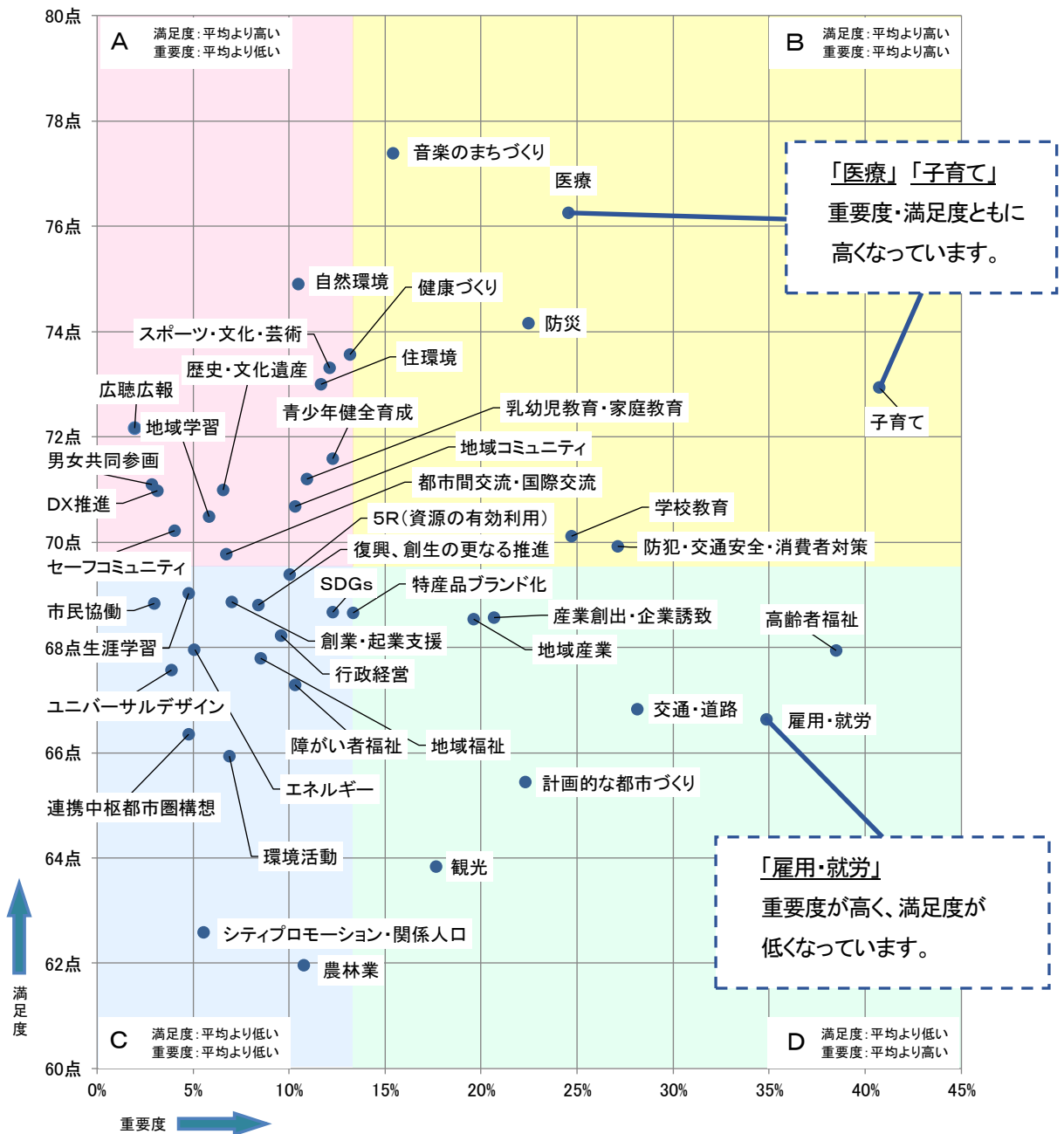
順位	前年度 順位	分野	項目	重要度	順位の 変動	10位以上 の変動
1位	(1位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	子育て	40.7	→	
2位	(3位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	高齢者福祉	38.5	↑	
3位	(2位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	雇用・就労	34.9	↓	
4位	(4位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	交通・道路	28.1	→	
5位	(7位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防犯・交通安全・消費者対策	27.1	↑	
6位	(5位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	学校教育	24.7	↓	
7位	(6位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	医療	24.6	↓	
8位	(11位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防災	22.5	↑	
9位	(8位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	計画的な都市づくり	22.3	↓	
10位	(9位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	産業創出・企業誘致	20.7	↓	
11位	(10位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	地域産業	19.6	↓	
12位	(12位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	観光	17.7	→	
13位	(21位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	音楽のまちづくり	15.4	↑	
14位	(15位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	特産品ブランド化	13.3	↑	
15位	(13位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	健康づくり	13.2	↓	
16位	(25位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	青少年健全育成	12.3	↑	
16位	(14位)	基盤的取組	S D G s	12.3	↓	
18位	(19位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	スポーツ・文化・芸術	12.1	↑	
19位	(18位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	住環境	11.7	↓	
20位	(16位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	乳幼児教育・家庭教育	10.9	↓	
21位	(20位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	農林業	10.8	↓	
22位	(16位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	自然環境	10.5	↓	
23位	(26位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	地域コミュニティ	10.3	↑	
23位	(23位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	障がい者福祉	10.3	→	
25位	(31位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	5 R（資源の有効利用）	10.0	↑	
26位	(33位)	基盤的取組	行政経営	9.6	↑	
27位	(28位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	地域福祉	8.5	↑	
28位	(24位)	基盤的取組	復興・創生の更なる推進	8.4	↓	
29位	(21位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	創業・起業支援	7.0	↓	
30位	(29位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	環境活動	6.9	↓	
31位	(26位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	都市間交流・国際交流	6.7	↓	
32位	(35位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	歴史・文化遺産	6.6	↑	
33位	(32位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	地域学習	5.8	↓	
34位	(34位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	シティプロモーション・関係人口	5.5	→	
35位	(30位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	エネルギー	5.1	↓	
36位	(40位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	生涯学習	4.8	↑	
36位	(36位)	基盤的取組	連携中枢都市圏構想	4.8	→	
38位	(37位)	基盤的取組	セーフコミュニティ	4.0	↓	
39位	(39位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	ユニバーサルデザイン	3.9	→	
40位	(42位)	基盤的取組	D X 推進	3.1	↑	
41位	(41位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	市民協働	3.0	→	
42位	(37位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	男女共同参画	2.8	↓	
43位	(43位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	広聴広報	1.9	→	



「子育て」「高齢者福祉」「雇用・就労」がトップ3です。

また、トップ10内では「高齢者福祉」「防犯・交通安全・消費者対策」「防災」が前年度に比べて順位を上げています。

施策の優先度（満足度と重要度の関係散布図）



A：維持領域

重要度は低いが満足度が高い取り組みは、現状を維持していく項目

B：重要維持領域

重要度が高く満足度も高いため、引き続き重点的に維持していく項目

C：要検討領域

重要度も満足度も低い取り組みは、市民ニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目

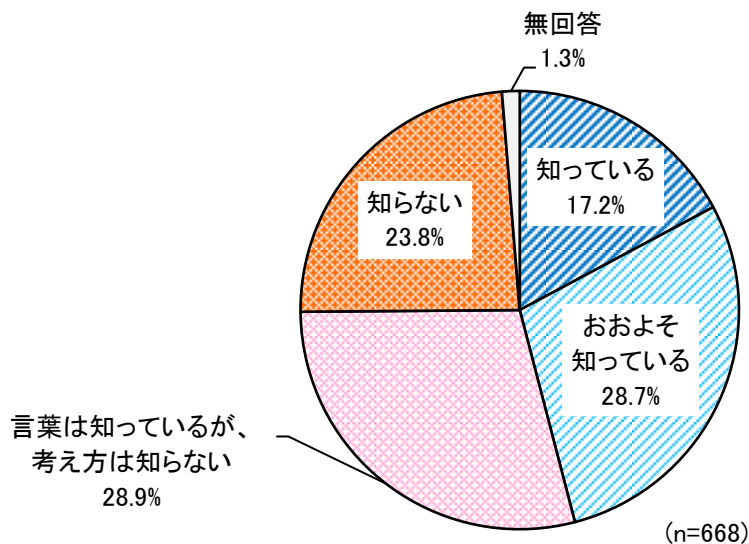
D：重要改善領域

重要度が高いが満足度が低いため、重点的に取り組みを進める必要がある項目

ユニバーサルデザインを知っていますか？

ユニバーサルデザインの認知状況

5 割弱がユニバーサルデザインを『知っている』と回答しています。

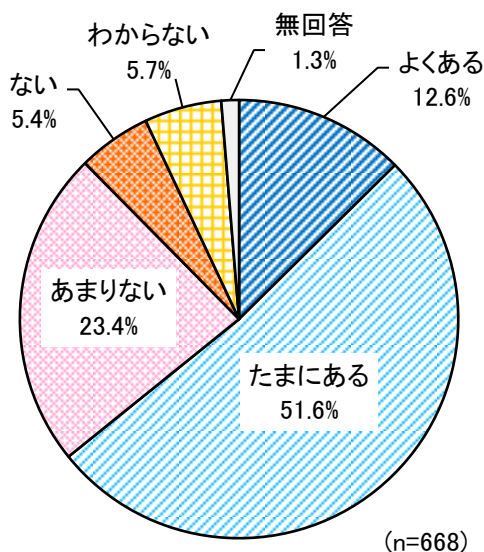


➡ ユニバーサルデザインを「知っている」または「おおよそ知っている」と回答した方は 45.9%となっています。

周りの人の思いやりの心を感じますか？

思いやりの心について

6 割強の方が思いやりの心を感じることが『ある』と回答しています。

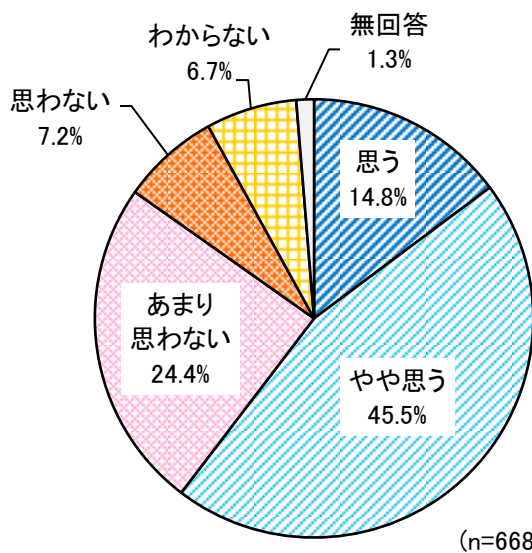


➡ 思いやりの心を感じることが「よくある」または「たまにある」と回答した方は 64.2%となっています。

市内にある施設は、 利用しやすいものになっていますか？

市内施設の
利用しやすさ

約6割の方が利用しやすいと『思う』と回答しています。

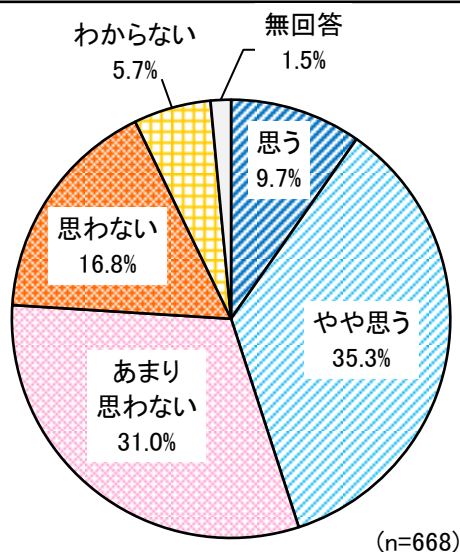


➡ 利用しやすいと「思う」または「やや思う」と回答した方は 60.3%となっています。

市内の道路や歩道、駅やバスターミナルなどは、 安心して利用できるものになっていますか？

市内の道路などの
利用しやすさ

4割強の方が利用しやすいと『思う』と回答しています。

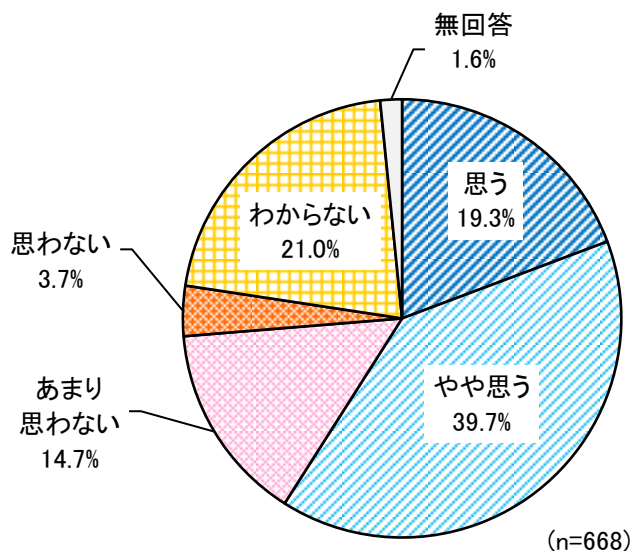


➡ 利用しやすいと「思う」または「やや思う」と回答した方は 45.0%となっています。

広報こおりやまや市のウェブサイトなどは、 理解しやすいものになっていますか？

市が発信する情報の
理解しやすさ

約6割の方が理解しやすいと『思う』と回答しています。

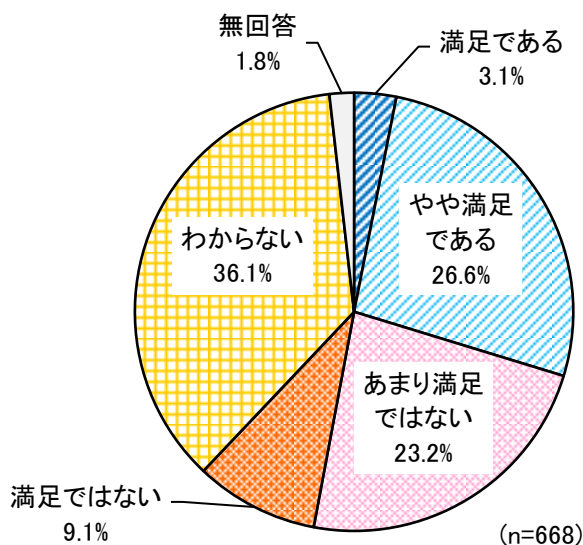


➡ 理解しやすいと「思う」または「やや思う」と回答した方は 59.0%となっています。

市のユニバーサルデザインのまちづくりに 対するあなたの満足度は？

市の取組に対する
満足度

約3割の方が『満足である』と回答しています。

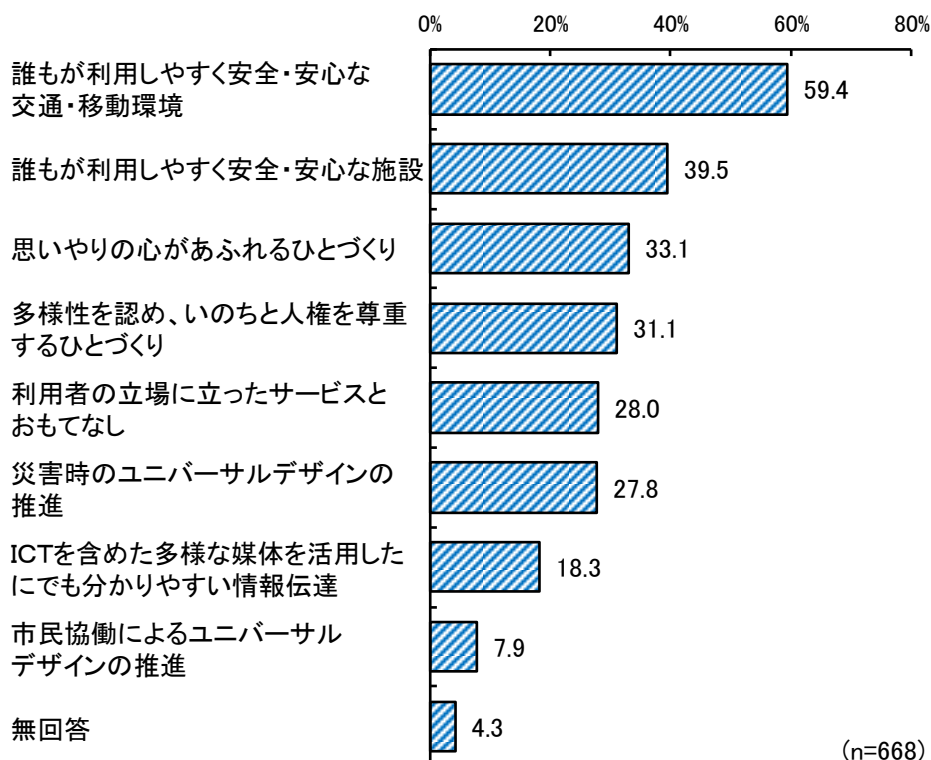


➡ 「満足である」または「やや満足である」と回答した方は 29.7%となっています。また「わからない」と回答した方が最も多く 36.1%となっています。

「ユニバーサルデザインのまちづくり」を進める上で、優先的に取り組むべき分野は？

優先的に
取り組むべき分野

約6割の方が「誰もが利用しやすく安全・安心な交通・移動環境」を優先的に取り組むべきとしています。



➡ 市が優先的に取り組むべき分野は「誰もが利用しやすく安全・安心な交通・移動環境」が 59.4%で最も多く、次いで「誰もが利用しやすく安全・安心な施設」が 39.5%、「思いやりの心があふれるひとづくり」が 33.1%となっています。